

令和3年度 第10回学校運営協議会会議録			
日 時	令和4年1月24日(月) 16時30分 ~ 17時30分		
場 所	誠之小学校 会議室		
出席者	神田基史 鮫島明良 梅村 坦 根尾英子 保苺吉紀 藤田紅美 及川雅司 宍戸敏和 森 直美 (学務課) 熊野係長		
司 会	神田基史	書 記	森 直美
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・学務課より ・学校運営状況について ・次年度の学校運営全般について ・その他 		
<p>1 学務課より 意見書についての回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度、特別教室の教室転用、図書室転用、プレハブ校舎の新設要望について →来年2学級分不足します。音楽室と会議室を転用する予定です。ただし、低学年棟ができるまでの間の暫定措置。一時的なもので、低学年棟ができれば元に戻します。プレハブの新設も含めて考えていきます。 ・運動場の即使用について →現在の工期の中で、令和5年7月、低学年棟竣工予定です。工期の短縮も進めていきたいのですが、早期に使用することは難しいと考えます。六義公園運動場、後楽公園少年野球場を利用していきます。 ・低学年棟の開始 →8教室の予定。普通教室の転用は暫定対応。児童推移を見ながら対応します。 <p>神田：意見書と大きく変わらず、非常に残念です。 保苺：今23、来年度26学級。転用した教室をもとに戻すのはいいのですが、今から低学年棟の配置、育成室について考えてほしいです。プレハブを作るだけでなく、計画自体変えないと。 鮫島：校舎の中に育成を入れて教室がプレハブなのはおかしいのでは。何も変わってない気がします。 神田：29教室が必要になった時の具体的な案を示していただきたいです。学校、保護者の意見を反映していただきたいと強く思います。 校長：どのような教室割にするか、困っています。教室にするだけでなく、学年がまとまった教室配置にするために悩んでいる状況です。ただ、部屋があればよい、という訳ではありません。 梅村：区も都も、人口推計が出てからでは遅いのでは。専門教室、それもあるが、普通教室、先生と子供が毎日過ごす部屋を大切にしてほしいと思います。</p>			

2 学校運営状況について

- ・2学期末から陽性者が増え、土日なしで対応しています。年末は31日まで対応するほどでした。1月になっても収まらず、始業式明けから陽性児童の対応。学校でクラスターは考えにくいのですが、安心のためのPCR検査キットの配布・回収を実施しています。
- ・複数の陽性者が同時期に出たら、学級閉鎖となります。PCR検査の結果が出るまでは臨時休業、同一学級内で複数名陽性者が出たら学級閉鎖。先週は第3学年、第1学年で、本日も第2学年で学級閉鎖が出ています。
- ・学びを止めないため、タブレット端末を活用していきます。教員の研修も実施してきていますが、教員も倒れないようにしていかなければなりません。
- ・学校としての授業は展開していきますが、行事の実施は難しいです。感染対策をすることができることはやる予定。学年交流はできないため、クラブや委員会、わくわく班活動はストップしています。

3 次年度の学校運営全般について

- ・少しでも保護者の方に学校内を見ていただきたいと考えています。2月には道徳授業を組んでいます。学級を半分に分けて授業を2回実施する予定。時間を分け、子供たちは半分の人数が登校して、授業を受ける。その形で公開できればと考えています。

及川：オンラインで配信することも検討していただきたいです。中学校もYoutubeで配信するなどしている。次年度は、そのような配信も前向きに考えていただけますか。デジタル社会を反映させた形で、保護者に見ていただく機会を増やしてほしいと考えます。

梅村：広島県福山市との交流の件です。大島能が4月3日公演予定となっています。

鮫島：学校の施設をお借りするのですが、先生方の手は煩わせない形で準備を進めています。

4 その他

- ・次回2月15日（火）16時30分 同日15時30分より学校関係者評価委員会開催